

# あなたにもできる「グリーン購入」

私たちが築いてきた豊かで便利な社会は、その代償として、地球に大きな負担をかけてきました。地球温暖化、森林破壊、ごみ問題などの環境問題が深刻さを増しています。私たちが一人ひとりが買い物のおきに、購入の必要性や、環境への負荷が少ない商品を選ぶことで「地球にやさしい社会」をつくる一歩になります。



## ◆旬の食材を買う

・「旬」の食材なら、暖房等の費用がかかるハウス栽培に比べ、必要なエネルギーも約1/10になり、農薬や肥料も少なく、おいしくて栄養も豊富だと言われています。



## ◆省エネルギー製品を購入する

・家電製品の省エネルギータイプの購入は、値段は高くても電気代を考えるとお得だと言われています。また、白熱電球を電球型蛍光灯にするだけでも電気代は約1/4になります。

## ◆お買い物袋を持って行く

・ごみ減量のために、エコバックで買い物しましょう。

## 環境マークの一例



グリーンマーク

古紙を原料とした商品につけられています。



Ecoマーク

環境に配慮した商品につけられています。

## ◆「環境ラベル」を参考に商品を選ぶ

◆包装の無いものや、少ないものを選ぶ  
・包装の少ない商品を選ぶことで、ごみを減らせます。また、できるだけ過剰包装は断りましょう。

## ●問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当

☎ 6578 有線 7788

## 感雑向綿

日野町長 藤澤直広

中山の芋競べ祭り。なかユニークな祭り。中山東、西でとれた里芋の長さを競い合う。酒に酔ったかのような踊りで、東西それぞれの山若と呼ばれる若者が長さを測り、お互いに自分の芋が長いと主張します。すると二番尉の山若が「今一度改めよ」と再計測を指示。そうした計測が何度も繰り返されます。会場の野神山の時間はゆっくりと流れます。観客がもうそろそろ勝負をつけて欲しいと思っても、そんなことは気にもとめず、さらに再計測が繰り返されます。どこで負けを認めるのかは、計測している三番尉の山若の判断次第だという。祭りの主役は山若たち。額ににじむ汗が夕陽にキラリと光り輝いていました。

祭りの多くは豊作や社会の安泰を祈願するものであり、民衆の願いが込められ、民衆の力で行われています。自然に畏怖の念をいだき、神仏を尊ぶ気持ちは誰もが持っている素直な気持ちです。しかし、それを踏み外して、科学的なものの見方が出来なくなると問題です。

9月2日に開催した講演会では、立命館大学の安斎郁郎先生に「人はなぜだまされるのか」と題して講演いただきました。素晴らしい手品やマジックは人を驚かせ喜ばせませんが、どれほど不思議なことでも「タネ」はあります。一方、本当は手品なのに同じような不思議な出来事（力）を「超能力」といえばこれは「だまし」です。テレビでも、超能力や予言や占いや霊がよく登場しますが、すべて「タネ」がある手品かデタラメだと先生は説明されました。予言が当たるのであれば、例えば競馬の当り馬券を予言し買えば、すぐに億万長者になれるはず。また、人の病氣や苦勞や悩みは霊によるものではなく必ず原因があるはず。です。

自分の経験や知識で理解できない出来事を超能力や霊に求めるのは、科学的な立場ではありません。社会のありようをしっかり目を向け、解決に向けて努力することこそ大切だと思います。